

庭園間交流連携促進計画

ガーデンネックレス横浜
Garden Necklace
YOKOHAMA



© ITOON/GN

2019（令和元）年5月
ガーデンネックレス横浜実行委員会

ガーデンネックレス横浜は、
「ガーデンシティ横浜」を推進するリーディングプロジェクト。

横浜ならではの花めぐりで、
歴史的な街並みや港の風景、花と緑、イベント、食を
ネックレスのようにつなげてお楽しみいただけます

花や緑による美しい街並みや公園、自然豊かな里山など、
横浜ならではの魅力を発信することで多くの方を横浜に呼び込み、
まちの活性化や賑わいの創出につなげます。

また、市民の身近な場所で花や緑に関する取組を全市的に進め、
花と緑にあふれる環境先進都市横浜の実現を目指します。

市全域で花と緑に親しむ機運を高め、
「国際園芸博覧会」の招致につなげます。

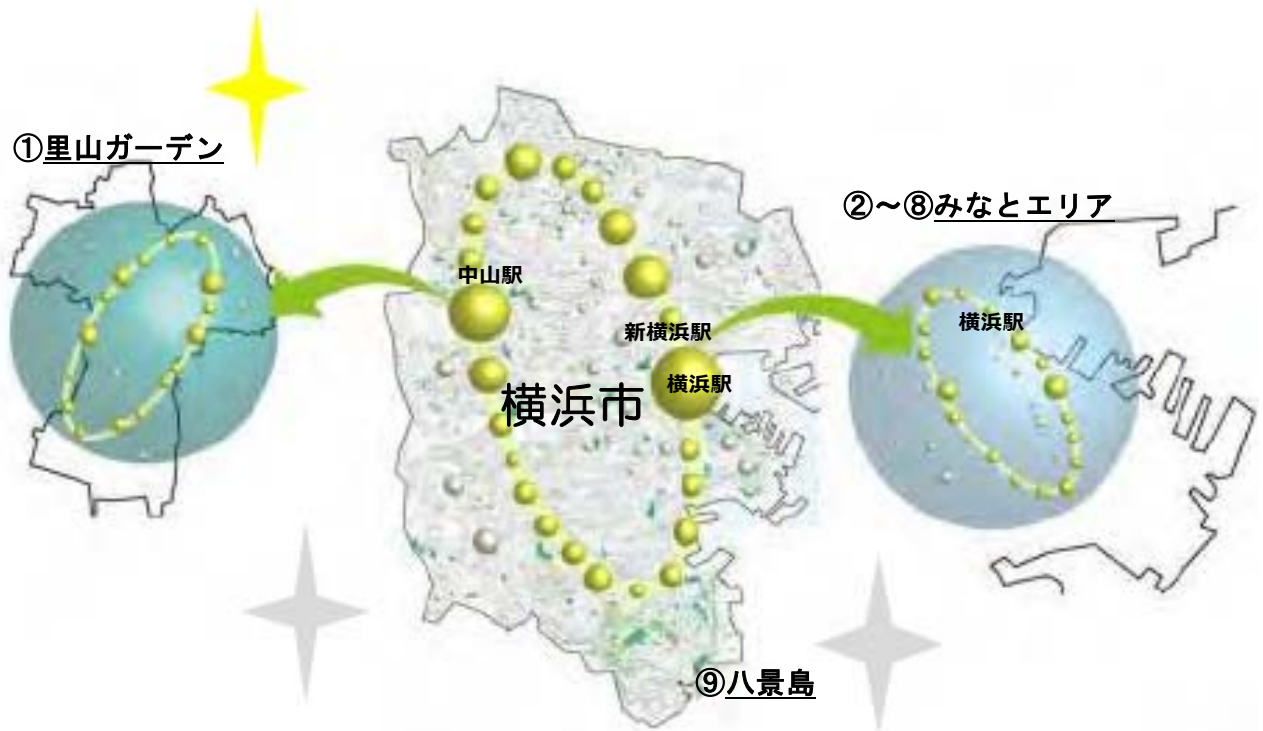
ガーデンシティ横浜とは

横浜市ではこれまでも、市民、企業、行政など、様々な主体が連携し、
横浜らしい花・緑・農・水のある豊かな自然環境を創り上げてきました。

この取組をさらに加速し、潤いや安らぎを感じられる横浜を次世代に引
き継ぎ、魅力ある横浜へと発展させていく取組を「ガーデンシティ横浜」
として位置づけました。



取組全体の範囲がわかる位置図



構成庭園の位置図



ガーデンネックレス横浜

横浜では、開港以来の歴史とともに育まれてきた美しい公園や、
緑豊かな里山などの魅力をさらに高め、
花・緑・農・水のある環境を生かした「ガーデンシティ横浜」を推進しています。
「ガーデンネックレス横浜」は、
「ガーデンシティ横浜」を推進するリーディングプロジェクト。

横浜ならではの花めぐり

歴史的な街並みや港の風景、花と緑、イベント、食を
ネックレスのようにつなげて
お楽しみいただけます。



「ガーデンネックレス横浜」の春

サクラから始まり、チューリップ、そしてバラへ。
みなとエリアはテーマフラワーを軸とした庭園やイベントで構成。
ネックレスのように街をつなぎます。

「横浜ローズウィーク」

バラが満開になる頃、市の花「バラ」を主役にした魅力的なイベントを市内各所で開催。
いくつものバラ園を歩いて巡り、花のイベントに参加。
花をモチーフにしたカフェやレストランでの一休み。
横浜の魅力をネックレスのようにつないで街めぐりを満喫いただけます。

市の花「バラ」

横浜市の花「バラ」は、花と緑あふれる横浜を創造するシンボルとして、
平成元年9月23日市民により定められました。
西洋バラの多くは開港間もない横浜から日本へ上陸したといわれ、
その後1世紀以上にわたって市民に親しまれています。



花と緑で街をつなぐ「ガーデンネックレス横浜」開催まで

1. 開港と横浜

(1) 開港と園芸植物の玄関口としての横浜港

横浜は 1859 年の開港以来、開港都市としての歴史とともに、大都市でありながらも水や緑が豊かな環境がある都市です。

開港の頃、鎖国状態にあった日本は未知の植物の宝庫で海外の注目を集め、多くのプラントハンターが来日し、園芸植物は横浜港の特徴的な公益品に成長しました。

特に「ユリ」はその代表的な植物で、その他数々の植物が輸出されました。また、「バラ」や「チューリップ」などが、西洋の花の輸入の先駆けとなったとされます。

その後、横浜市の花「バラ」は、花と緑あふれる横浜を創造するシンボルとして、平成元年 9 月 23 日市民により定められました。西洋バラの多くは開港間もない横浜から日本へ上陸したといわれ、その後 1 世紀以上にわたって市民に親しまれています。

「サクラ」は、明治時代、横浜に滞在した文筆家・地理学者エリザ・R・シドモアが、母国への植樹を提唱、横浜港からワシントン・ポトマック河畔へ 3000 本のサクラが送られました。当時「日米友好の桜」として大変喜ばれ、今では「世界的な桜の名所」とされる場所になっています。

ポトマック河畔の桜は 1991 年に日本へ里帰りを果たし、彼女が眠る横浜山手外国人墓地に植樹され「シドモア桜」と呼ばれています。

花きの生産は、戦前はカーネーションやモモが全国で高いシェアを占めました。戦後はシクラメンやパンジー、ペチュニアなどにおいて、栽培農家数が全国 1 位であるなど、高いシェアを占めています。

このような花き産業があり、全国都市緑化よこはまフェアの開催を支えました。

(2) 水と緑豊かな都市

横浜市は大都市でありながら、開港以来の歴史とともに育まれてきた美しい公園や、緑豊かな里山など、市民生活の身近な場所に豊かな水や緑の環境を有しています。

横浜らしいこの水と緑の環境を生かし、また、次世代に引き継いでいくため、2009 年度から「横浜みどり税」を財源の一部に活用して「横浜みどりアップ計画」を推進してきました。この計画や「横浜市水と緑の基本計画」に基づいて、水と緑の環境を保全・創出・育成する様々な取組が展開されています。

また、横浜の公園には約9割で「公園愛護会」が結成されています。花と緑は多くの方が親しみやすいテーマであり、地域コミュニティを育み、まちを支える市民力が培われています。このような市民力や、そのつながりといった背景も、よこはまフェアの成功につながりました。

2. 全国都市緑化よこはまフェア開催とその継承 愛称は「ガーデンネックレス横浜 2017」

2017年に「第33回全国都市緑化よこはまフェア」が開催されました。

よこはまフェアでは「ガーデンネックレス横浜 2017」を愛称に、「まち・人・時」をネックレスのようにつなぐ様々な取組を実施。メイン会場の「みなとガーデン」と「里山ガーデン」、花や緑の見どころ市内7か所を「パートナー会場」に設定し、市内18区でもイベントや花壇展示などが展開され、市内全域が花と緑の魅力で「ネックレス」のようにつながりました。

「みなとガーデン」のコンセプトは「歴史と未来の横浜」。最大の特徴は、既存の公園や日本大通りなど街路も含めた演出により、街全体を大きな会場として、回遊しながら楽しむガーデンとしたことにあります。歴史や特徴ある既存公園の魅力を生かした再整備や演出で賑わいました。



みなとガーデン（横浜公園）



みなとガーデン（港の見える丘公園）

「里山ガーデン」は「緑豊かな横浜」をコンセプトに、里山の魅力、楽しみを体感。一番の見どころは大花壇で、花で囲まれた景色は圧巻です。この大花壇には、現在市内産の花きが約8割用いられており、横浜の花き産業の成果です。



里山ガーデン（森のこみち）



里山ガーデン（大花壇）

こうした取組により、よこはまフェアには市内外から600万人を超える方が訪れました。まちに花や緑による賑わいを創出し、花と緑を楽しむライフスタイルを提案。「美しい花と緑豊かなまち 横浜」を実現していく契機となりました。

横浜市では、このフェアを継承し、開港以来の取組とともに、花・緑・農・水のある環境を生かした市民や企業等の参加によるまちづくりや賑わい創出、観光・MICEの取組により「ガーデンシティ横浜」を推進し、花や緑にあふれる横浜、自然を大切にする心を次世代につなげていくこととしています。



みなとガーデン（日本大通り）



パートナー会場（横浜イングリッシュガーデン）

3. ガーデンネックレス横浜の展開

2018年8月、フェアを継承し、ガーデンネックレス横浜を多様な主体と連携して広げていくため、「ガーデンネックレス横浜実行委員会」を設立しました。

実行委員会には、横浜市をはじめ、民間企業では、花卉業界、造園業界、鉄道・交通業界、旅行業界、商工業界等多様な業界が参画し、連携して横浜を花と緑で盛り上げていく体制が整っています。

「ガーデンネックレス横浜」は、横浜市が主催する里山ガーデンフェスタやみなとエリアの見どころに加え、民間の主催する花と緑の事業である「みなとみらい21 さくらフェスタ」や赤レンガ倉庫での「フラワーガーデン」、チューリップが魅力の「よこはま花と緑の春フェア」、日本最大級の総合園芸パブリックショーである「日本フラワー&ガーデンショー」なども参画し、市域が一体となって花と緑のつながりが広がっています。

広報の連携においても鉄道各社や民間施設でのPRを通して、より多くの方へ花と緑の見どころやイベント情報が伝わっています。

また、ソフト展開では、横浜を巡り歩く楽しみの創出として、横浜ガストロノミ協議会と食の連携を実施し、花を使ったスイーツやカクテルなど特別メニューでのおもてなしがあります。

市、民間企業、市民が独自の花と緑の取組を行い、その活動が波紋のように広がっていき、花と緑のネックレスの魅力が市内各所で輝くことを目指しています。

花と緑に親しむ機運を高め、「国際園芸博覧会」の招致につなげるとともに、横浜市の中長期ビジョンの戦略の一つとして位置付けられている「花と緑にあふれる環境先進都市」の実現に貢献します。



ガーデンシティ横浜を推進するリーディングプロジェクト『ガーデンネックレス横浜』

魅力的な場の展開

- ・ みなとエリア
- ・ 里山ガーデン
- ・ 全市での展開

一体的な広報・PR

- ・ 花や緑に関する公共施設、民間施設、イベント等を一体的に広報・PR

取組・活動の広がり

- ・ 地域、企業等による取組の広がり
- ・ 多様な主体との連携による魅力づくりの広がり

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	さとやま 里山ガーデン	構成庭園の 所在地	横浜市旭区上白根町 1425-4
1 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】約 20ha 【入園料金】無料 【公開時期】3月下旬～5月上旬、9月中旬～10月中旬 【施設管理者】横浜市 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の概要 市内産の花で彩る大花壇やウェルカムガーデン、花と緑のイベントで来園者を迎えます。 よこはまフェアでのメイン会場のひとつです。(来場者数約 34 万人) ・見所・イベント 市内最大級 10,000 m²の大花壇では、JA 横浜の協力により植栽されている花苗の約 8 割を、市内産のものを使用し、期間限定で公開。 ウェルカムガーデンは、横浜花と緑のアンバサダー・三上真史さんの監修によりテーマ性のあるデザインとしています。その他、花や緑に親しむワークショップやイベントも実施しています。 ・(参考) 里山ガーデンフェスタ開催時の入園者数 2018 年春約 15 万人、秋 7 万人 		
計画のテーマでの 位置づけ (※3)	<p>よこはまフェアでのメイン会場のひとつであり、フェアを継承する取組として、「ガーデンネックレス横浜」でもメイン会場になっています。 市内産の花で彩られた大花壇が一番の見所。周辺の樹林地を生かしたつくりで、花と緑の一体感を感じていただくとともに、花と緑への関心をより高めます。また、多彩なワークショップ等の体験を通し、花と緑に親しむ機会を創出しています。</p>		



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	やましたこうえん 山下公園	構成庭園の 所在地	横浜市中区山下町 279
2 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】約7.4ha 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】横浜市 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 横浜を代表する公園です。海への眺望、沈床花壇のバラ、歌碑や記念碑など見どころの多い公園。特に平成28年にリニューアルオープンしたバラ園は、つるバラやスタンダード仕立てのバラにより、立体的で多様なバラの演出をご覧ください。 よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつです。 (来場者数約123万人) 見所・イベント ガーデンネックレス横浜のテーマフラワーであるサクラ、チューリップ、バラと、年間を通して青い芝生を楽しめる公園。バラ園にあるしだれ桜は横浜のシンボル・マリントワーと一緒に撮影ができるフォトスポットです。 チューリップの時期には「よこはま花と緑の春フェア」のメイン会場として、賑わいます。 リニューアルしたバラ園では咲き誇る花とともに約160種1,900株のバラが楽しめます。バラ園は、昔からのバラの株を継承し、歴史を受け継ぐとともに、新たに宿根草を植栽することで年間を通して見どころのあるバラの庭園となっています。バラは手間が掛かるものと従来から言われていますが、来園された方々に、このバラ園をお手本にご自宅でもバラを楽しんでもらえるよう、病虫害に強いバラを採用し、維持管理が行いやすいバラ園を目指しています。山下公園のバラ園は「未来のバラ園」としてバラの歴史の流れを過去から未来へと受け渡す横浜のシンボルガーデンです。 <div data-bbox="405 1402 1441 1845"> </div>		
計画のテーマでの位置づけ (※3)	<p>よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつであり、フェアを継承する庭園があり、「ガーデンネックレス横浜」でもメイン会場としています。ネックレスのように、花と開港以来の港の景色、歴史的な建物との景観をつないで楽しめる公園で、テーマフラワーの「サクラ」「チューリップ」「バラ」が次々と咲き誇ります。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	みなと み 見える おかこうえん 港の見える丘公園	構成庭園の 所在地	横浜市中区山手町 114
3 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】約 6.0ha 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】横浜市 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 公園がある一帯は、開港当時外国人居留地でした。昭和 37 年に風致公園として開園し、以降、フランス領事館跡地のフランス山地域、イギリスの総領事公邸であった横浜市イギリス館、大仏次郎記念館、近代文学館など文化の香り高い施設が次々とオープンしました。平成 3 年には、市の花であるバラの制定記念として、バラ園が公開されています。 山手の観光コースからは外せない公園で、元町と山手をつなぐ位置に立地し、展望台から眼下に広がる港や横浜ベイブリッジの風景は最高です。 平成 28 年にバラ園をリニューアルオープンしました。 よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつです。 (来場者数約 31 万人) 見所・イベント 西洋館を背景に、印象の違う 3 つのバラ園を楽しめるのが特徴です。 「イングリッシュローズの庭」としてリニューアルオープンしたエリアは横浜市イギリス館を背景にバラ植栽を主とした英国風の庭をテーマに一年草と宿根草との混植のガーデンとなり、四季を通して様々なバラや草花が咲き競います。 沈床花壇は「香りの庭」として、沈床花壇としての地形を生かしながら四季を通してバラや草花、花木の香りと彩りをお楽しみいただけます。 「バラとカスケードの庭」では高低差を生かした水の流れと西洋館と共に、バラと花の競演を楽しめます。 <div data-bbox="419 1361 1058 1780" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1090 1290 1417 1780" data-label="Image"> </div>		
計画のテ ーマでの 位置づけ (※3)	<p>よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつで、フェアを継承する庭園があり、「ガーデンネックレス横浜」でもメイン会場としています。テーマフラワー「バラ」の庭園を満足いくまで楽しめる場所です。 港から山手をつなぐ場所にあり、ネックレスのように、横浜山手西洋館、バラ園をつないで巡り、開港以来の歴史と美しい花と緑を体感できます。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	よこはまこうえん 横浜公園	構成庭園の 所在地	横浜市中区横浜公園
4 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】約 6.4ha 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】横浜市 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 横浜では山手公園に次いで2番目に古い公園。横浜スタジアムと春のチューリップが有名です。 市民参加によるチューリップの植え付けは毎年恒例となっており、人気のイベント。市域全体からの市民参加により、春の代表的な景色が造られています。開港間もない頃に、一般の人も楽しめる公園として開放され「彼我公園」と呼ばれていた歴史など、横浜のまちとともに歩んできた公園です。現在では池や流れ、水琴窟を楽しめる日本庭園に「彼我庭園」の名称があります。 よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつです。 (来場者数約 140 万人) 見所・イベント 約 70 品種約 14 万球のチューリップが最大の見所。毎年 11 月頃に一部を緑化推進団体や一般の市民の方にお手伝いいただき球根を植えています。品種により開花期がリレーのように繋がり、4 月上旬から中旬に開花、見頃を迎えます。 「よこはま花と緑のスプリングフェア」も開催し、毎年賑わいを見せます。 		
計画のテーマでの 位置づけ (※3)	<p>よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつであり、フェアを継承する見どころのひとつ。「ガーデンネックレス横浜」でもメイン会場としています。テーマフラワー「チューリップ」の最大の見どころで、ここから日本大通り、新港中央広場、山下公園などへと花を巡る際の起点にもなります。</p>		



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	にほんおおどお 日本大通り	構成庭園の 所在地	横浜市中区山下町 279
5 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】約1,5ha（幅員約36m、長さ約430m） 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】横浜市 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 歴史的建造物とイチョウ並木が印象的な大通り。並木は景観重要樹木に指定されています。春はチューリップとユリで通りを彩ります。 横浜公園から港へ向かう大通りで、開港からの歴史を踏まえた優れた都市景観・通景空間が守られています。 よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつです。 見所・イベント 4月は「よこはま花と緑の春フェア 2019」開催。会場間を繋ぐ花回廊が楽しめます。また、2019年には横浜ローズウィーク期間限定で、バラの花壇を展示。「ローズ&ガーデンマーケット」も開催します。 		
計画のテーマでの 位置づけ (※3)	<p>よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつ。フェアを継承する見どころのひとつで、「ガーデンネックレス横浜」でもメイン会場として街を彩っています。 テーマフラワーの「チューリップ」と歴史的建造物、イチョウ並木の景観を楽しみながら港へ続く大通りで、庭園をつなぐ重要な役割を果たしています。</p>		



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	しんこうちゆうおうひろば 新港中央広場	構成庭園の 所在地	横浜市中区新港一丁目5番
<p>構成庭園 の概要 (※2)</p>	<p>【開園面積】約1.1ha 【入園料金】無料 【公開時期】通年 【施設管理者】横浜市 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 赤レンガ倉庫やベイブリッジ、ランドマークタワーなどの横浜の名所が、よく見える港湾緑地。散策や休憩ができる「ナチュラルガーデン」で、芝生とともに、そよ風に揺れるチューリップやユリを楽しめます。よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつです。 見所・イベント 赤レンガ倉庫を背景に、風に揺れる花々の広がりを楽しめます。 		
<p>計画のテ ーマでの 位置づけ (※3)</p>	<p>よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」のひとつ。フェアを継承する見どころのひとつで、「ガーデンネックレス横浜」でもメイン会場として街を彩っています。テーマフラワーの「チューリップ」と歴史的建造物、港へ向かう景観を楽しみながら、他の庭園へとつながる場所に位置し、ガーデンネックレスとして庭園をつなぐ重要な役割を果たしています。</p>		



構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	よこはま 横浜イングリッシュガーデン	構成庭園 の所在地	横浜市西区西平沼町 6-1 tvk ecom park 内
7 構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】約 0.7ha 【入園料金】500～1200 円／大人（時期による） 【公開時期】休園日：年末年始 【施設管理者】株式会社テレビ神奈川 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 2018 年世界バラ会連合 世界大会にて「優秀庭園賞」を受賞。園内の 1,800 種のバラは香り高い四季咲きの品種が多く、春から秋までバラを楽しめます。 よこはまフェアでのパートナー会場のひとつです。 （会期中の来場者数約 7.6 万人） 見所・イベント 春にローズフェア開催。皇室ゆかりのバラをあつめた展示会や、デビット・オースチン作出のバラの展示会なども開催予定。（公財）日本ばら会の春のばら展や各ナーセリーがバラ苗を販売する「横浜ローズマルシェ」も開催予定。 <div data-bbox="826 981 1423 1420" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="491 1352 1043 1688" data-label="Image"> </div>		
計画のテーマでの位置づけ (※3)	<p>よこはまフェアでのパートナー会場のひとつであり、「ガーデンネックレス横浜」でも会場としています。 2018 年世界バラ会連合 世界大会にて「優秀庭園賞」を受賞しており、世界的にも評価されています。この庭園のスーパーバイザーは、公園でのバラ園育成管理においても魅力的な庭園づくりにアドバイザーとして参画しており、市内の様々なバラ園を巡るきっかけをつくっています。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	よこはまやまてせいようかん 横浜山手西洋館	構成庭園の 所在地	横浜市中区山手町 16 ほか
<p>構成庭園 の概要 (※2)</p> <p>8</p>	<p>【開園面積】西洋館は3公園に点在。全7館。 3公園合計面積 約9.5ha 横浜市イギリス館、山手111番館（港の見える丘公園） 山手234番館、エリスマン邸、ベーリック・ホール（元町公園） 外交官の家、ブラフ18番館（山手イタリア山庭園）</p> <p>【入園料金】無料 【公開時期】毎月1回定休日、年末年始は休み 【施設管理者】指定管理者：横浜市緑の協会・横浜市弓道協会グループ 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 山手西洋館が点在するエリアは、住宅・文教地区として、外国人居留地の面影を残すエリア。西洋館は、それぞれの歴史や風情を生かした庭園が周囲を囲み、趣を感じることができます。 よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」での、まちなかフラワースポットのひとつです。 見所・イベント 西洋館の魅力を生かし館内が花や緑いっぱい飾られるイベント「花と器のハーモニー」をはじめ、様々なイベントを開催。 四季折々、季節の花で彩られる館内では、子どもから大人まで楽しめる様々な取組が開催されています。スタンプラリーなど西洋館を巡り歩く楽しみも。 <div data-bbox="422 1142 1436 1758">  </div>		
<p>計画のテーマでの 位置づけ (※3)</p>	<p>よこはまフェアでのメイン会場「みなとガーデン」では、まちなかフラワースポットとして街を彩りました。西洋館を囲む庭園は、フェアを継承する見どころのひとつです。「ガーデンネックレス横浜」でも、西洋館と建物を彩る庭園が見どころになっており、テーマフラワーの「サクラ」「バラ」との共演が楽しめます。外国人居留地の面影とともに、花と緑に囲まれた庭園と西洋館を巡り楽しむ横浜ならではの楽しみができるエリアです。</p>		

構成庭園一覧表

ふりがな 構成庭園 の名称 (※1)	はっけいじま 八景島	構成庭園の 所在地	横浜市金沢区八景島
構成庭園 の概要 (※2)	<p>【開園面積】約24ha 指定管理区域：約14ha、丘の広場バラ園：0.2ha</p> <p>【入園料金】無料</p> <p>【公開時期】通年（夜間閉鎖あり）</p> <p>【施設管理者】指定管理者：株式会社横浜八景島</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の概要 360°海に囲まれた丘の上のバラ園。約100種500株の色とりどりのバラが咲き誇ります。 よこはまフェアでのパートナー会場のひとつです。 (会期中の来場者数約81万人) 見所・イベント 5月にバラフェスタ開催。海に囲まれた丘の上のバラ園を会場に、手作りグッズや地場野菜販売、ミニバラ講座、ワークショップ、ステージなどを楽しめます。丘の上の会場までは特別運行のシートレインでアクセス可能です。 		
計画のテーマでの 位置づけ (※3)	<p>よこはまフェアでのパートナー会場のひとつ。「ガーデンネックレス横浜」でも会場としています。</p> <p>海に囲まれた丘の上で、みなとエリアとは違った、海とテーマフラワーの「バラ」を楽しめます。また、春のばらフェスタでは様々な楽しみを演出しています。様々な庭園を巡る楽しみとして、ガーデンネックレス横浜の重要な構成庭園のひとつです。</p>		



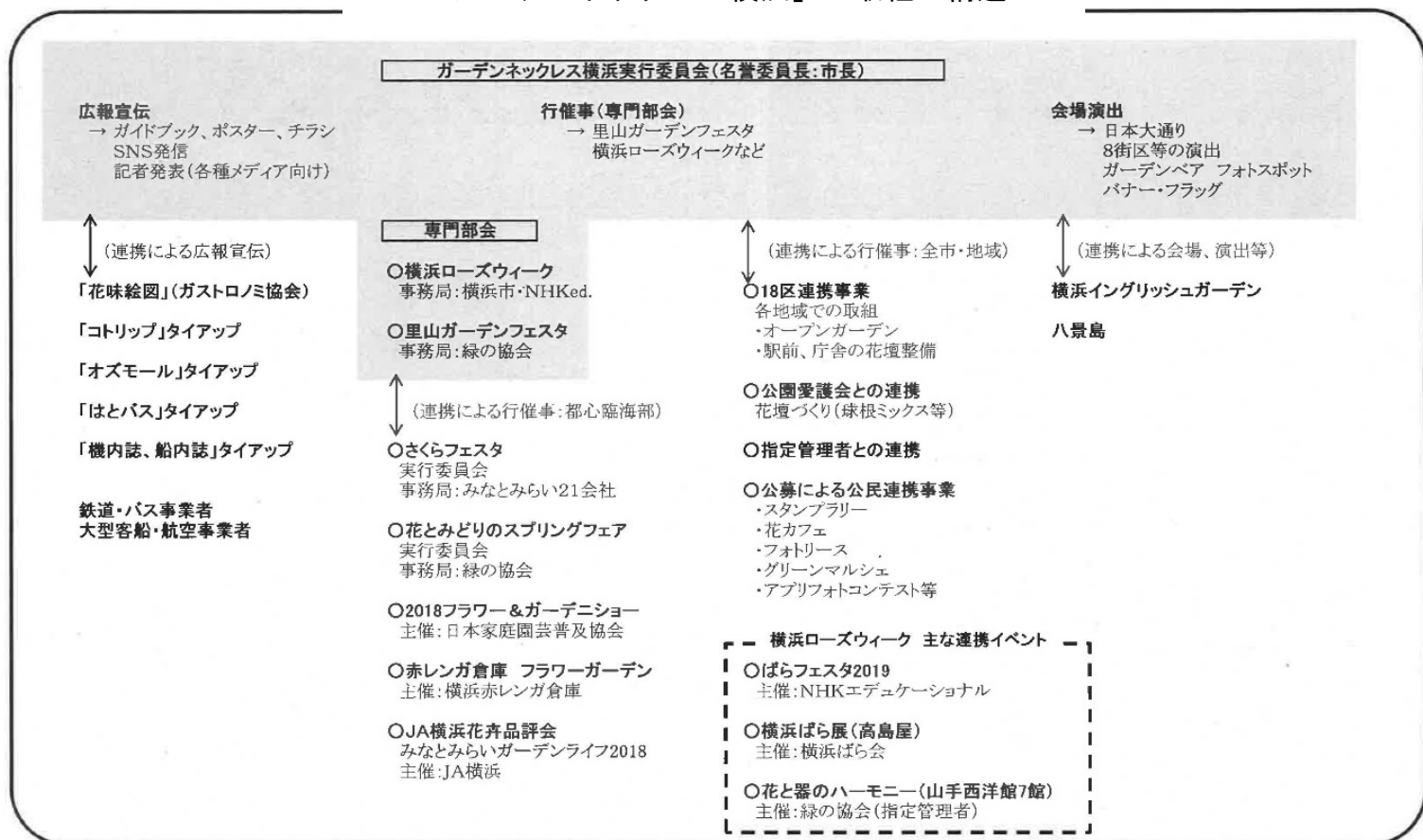
その他計画の実施にあたって必要な事項

「ガーデンネックレス横浜」巡るという魅力

ガーデンネックレス横浜の魅力は、花と緑の庭園や、横浜ならではの港の景色、歴史的な建物を見て、巡り歩き、楽しめること。そして、見るだけではなく、花や緑のイベントに参加し、体験できること、花をつかった食を楽しめることが、魅力としてネックレスのようにつながっています。

見どころやイベントは多様な主体によって企画、運営されています。その構造を示すとともに、「ガーデンネックレス横浜」を巡る楽しみ、魅力の数々をご紹介します。

「ガーデンネックレス横浜」の取組の構造



「ガーデンネックレス横浜」は、参画する実行委員会のメンバーだけではなく多様な主体と連携しており、花と緑を巡る横浜ならではの街歩きを、より魅力的なものとしています。

「ガーデンネックレス横浜」巡る楽しみ

花の見どころに加わった、新たな魅力

横浜でしか見られないチューリップ「ラバースタウン」

「よこはまフェア」で好評だったチューリップの新品種「ラバースタウン」。

白色からピンク色へ花色が変化する移り咲きの品種で、2019年は、山下公園と港の見える丘公園、里山ガーデンで楽しんでいただきました。



「ラバースタウン」

大人気のマスコットキャラクター「ガーデンベア」

チラシやポスター、ノベルティグッズにも統一して登場。

様々なイベントでのグリーティングでは、子どもから大人まで笑顔で写真を撮る光景が見られます。

「よこはまフェア」に続き、スマートフォンのアプリ「LINE」で使えるスタンプも復活しました。



LINEスタンプの
「ガーデンベア」

花と緑を体験でも楽しむ。市内各所で行われる花と緑のイベント連携

花の見どころを楽しむだけでなく、花と緑のイベントも数多く開催。ネックレスのように様々な魅力をつないで、楽しめます。

・花と緑のイベントと連携

「ガーデンネックレス横浜」は花と緑のイベントと連携し、魅力をつないでいます。



「みなとみらい21 さくらフェスタ」
街全体をさくらで演出



横浜赤レンガ倉庫
「FLOWER GARDEN」
色鮮やかな草花で春らしさを演出



「よこはま花と緑の春のフェア」
チューリップが美しい
横浜の春の風物詩



「日本フラワー&ガーデンショウ」
日本最大級の総合園芸
パブリックショウ



横浜イングリッシュガーデン
「ローズフェア」
バラの見頃に合わせてイベントも開催



大さん橋ホール
「ばらフェスタ」
世界をめぐるローズショー

- ・「ガーデンネックレス横浜」の魅力を高める公募事業
イベントや巡る楽しみづくりなど、「ガーデンネックレス横浜」
の魅力を高める企画を募集。連携して実施しています。

里山ガーデン

自然観察、花や緑のワークショップ、物販など

みなとエリア

花カフェ装飾、花のフォトスポット設置、
花と緑のイベント開催など



・ **応援イベント**

花や緑に親しむ要素を含んだイベントを募集。
広報連携で、市内各所での花と緑の取組を
広げています。



応援イベントで使える
オリジナルのガーデンベア



ワークショップの作品

見て楽しい、食べて美味しい食の楽しみ

花×横浜×食「花味絵図」

よこはまグルメマップ「花味絵図」製作委員会による「ガーデンネックレス横浜 2019」の連携イベント。

横浜の食文化振興、発展を目的として活動する「NPO 法人 横浜ガストロノミ協議会」や「横浜市洋菓子協会」をはじめとする横浜市の有名シェフや有名パティシエのご協力による「花」をテーマとしたメニューを期間限定でご提供するグルメイベントです。

さらに 2019 年は、市の花「バラ」をテーマにしたイベント「横浜ローズウィーク」の初開催にあわせ、一般社団法人日本バーテンダー協会ご協力のもと、4 種類のバラのカクテルも登場。

よこはまフェアから始まったこの取組も 3 年目となり、参加店舗・メニュー共に過去最多となり、「ガーデンネックレス横浜」と共に魅力を高めています。

花を巡り、街中での一休み。各店舗を紹介するグルメマップ「花味絵図」を参考に、食でも横浜の花の魅力を楽しめます。



「花味絵図」パンフレット

横浜市内のホテルや飲食店 115 店舗が花をテーマにした 66 種類のメニューを提供！






展開するメニューの一例

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組	
<p>2017年春に開催した第33回全国都市緑化よこはまフェアの取組を継承し、ガーデンシティを推進するリーディングプロジェクトとして、「ガーデンネックレス横浜」を毎年市域で開催。市内の花や緑による魅力・賑わいの創出・育成と広報PR等を実施しています。</p> <p>運営主体は「ガーデンネックレス横浜実行委員会」であり、名誉委員長を横浜市長とし、公益財団法人横浜市緑の協会、株式会社NHKエデュケーショナル等官民が一同に会し組織しています。</p> <p>実行委員会が直接執行する事業に加え、既存の花とテーマとしたイベント主体にも積極的に呼びかけを行い、「ガーデンネックレス横浜」の名称を冠し、実行委員会が主に広報・プロモーションを総体として行っています。</p>	
(2) 今後の取組	
<p>平成31年度は新たな取組として市の花「バラ」をテーマに「横浜ローズウィーク」を実施します。</p> <p>「横浜ローズウィーク」とは、フェア開催時に魅力を高めた山下公園などにある4つのバラ園のほか、民間事業者が運営するバラ園や飲食店と連携し、バラの名所を巡り楽しむイベントです。歴史的空間を生かした街並みとともにいくつものバラ園を巡り歩き楽しめるのは、全国でも類を見ない横浜ならではの魅力であり、来街者に横浜をお楽しみいただけます。</p> <p>また、今後の展開として、「ガーデンネックレス横浜」の市内各所での広がりを視野に入れ、新たなルートの設定も検討していきます。</p> <p>市内には三溪園や、大岡川の桜並木、神奈川県立四季の森公園など、まだ多くの魅力が点在しています。季節を感じる横浜ならではの花と緑の街巡りを検討していきます。</p> <p>また、上記取組の通り、今後も直接実行委員会が執行する事業に加え、独自に民間事業者、NPO、市民団体が主催する花に関するイベントを「ガーデンネックレス横浜」として連携し、総体として、花と緑の街横浜をPRする取組を進めます。</p>	
(3) 協議会の構成員	
<p>横浜市、民間企業（花卉業界、造園業界、鉄道・交通業界、旅行業界、商工業界等）</p> <p>別添 ガーデンネックレス横浜実行委員会名簿</p> <p>別添 ガーデンネックレス横浜実行委員会会則</p>	
(4) 事業の実施体制	
<p>運営主体は「ガーデンネックレス横浜実行委員会」であり、名誉委員長を横浜市長とし、公益財団法人横浜市緑の協会、株式会社NHKエデュケーショナル等官民が一同に会した組織としています。</p> <p>また、企業等から協賛金のご協力もいただき事業をより充実した内容とするとともに、イベントへ参加や独自企画など、多様な主体が個々の事業として取り組んでいます。ガーデンネックレス横浜実行委員会では、それぞれの魅力的な取組をネックレスのようにつなげていくため、連携に力を入れていきます。</p>	
(5) 具体的な事業	様式1-8のとおり

※ 複数ページにわたっても良い。

具体的な事業一覧表

事業名①	ガーデンネックレス横浜 2019		
実施主体	横浜市	事業期間	平成 30 年度 ~ 令和 5 年度
実施施設	里山ガーデン、みなとエリア、その他全市		
事業概要	<p>「ガーデンネックレス横浜 2019」は花や緑あふれる都市「ガーデンシティ横浜」を推進するリーディングプロジェクトです。 春はメイン会場の里山ガーデンやみなとエリアを中心に、市内各所が、パンジー、サクラ、チューリップ、バラといった春の花々で彩られます。 秋は、里山ガーデンフェスタをお楽しみいただけます。</p> <p>令和元年からは、初のイベント「横浜ローズウィーク」を開催します。 ガーデンネックレス横浜の取組のひとつとして、市の花「バラ」を主役に横浜の街とバラを楽しむイベントです。</p> <p>【ガーデンネックレス横浜 開催概要】 期間：春 3月下旬～6月上旬 秋 9月中旬～10月中旬 場所：春（メイン会場）里山ガーデン、みなとエリア 秋（メイン会場）里山ガーデン ※メイン会場以外にも市内各所での取組を通年で実施</p> <p>【横浜ローズウィーク 開催概要】 期間：5月上旬～6月上旬 場所：山下公園、港の見える丘公園、 横浜イングリッシュガーデン、八景島など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="border: 1px solid #008080; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 40%;"> <p>横浜花と緑をPRするアンバサダー <u>三上真史（みかみまさし）さん</u> NHKE テレ人気番組「趣味の園芸」でメインナビゲーターを務める。花を愛する園芸男子。 里山ガーデンの「ウェルカムガーデン」の植栽も手掛けました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div style="border: 1px solid #008080; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 40%;"> <p>横浜花と緑をPRするマスコットキャラクター <u>GARDEN BEAR（ガーデンベア）</u> グリーンの体に満開の「天然」アフロヘアーが自慢の元気いっぱいのクマ。英語の「BEAR」には、「クマ」のほかに「花をつける/実を結ぶ」という意味があります。</p> </div> </div>		